



プレスリリース 30/2019

---

## 開催日決定！

鉄道の国際機関である国際鉄道連合（UIC）と、中国国家鉄路集团有限公司（CR）、そして会議のオーガナイザーを務める CR の関連機関である中国鉄道科学研究院（CARS）は、目下「UIC HIGH SPEED 2020」開催の準備中である。

*第 11 回世界高速鉄道会議が、2020 年 6 月 30 日から 7 月 3 日まで北京で開催される。今回の会議全体のテーマは「インテリジェント・モビリティの拡張」だ。*

（パリ 2019 年 9 月 19 日）第 11 回世界高速鉄道会議「UIC HIGH SPEED 2020」を、国際鉄道連合（UIC）、中国国家鉄路集团有限公司（CR）、中国鉄道科学研究院（CARS）の三者が共催する。中国国内の全高速鉄道関係者、また全ての UIC 加盟鉄道関係者の協力を広く得ての開催となる。会期は 2020 年 6 月 30 日から 7 月 3 日まで、北京で開催される。

会議の主題は「インテリジェント・モビリティの拡張」。高速鉄道とそのインターフェースを、他の輸送手段といかに結びつけるかについて議論を交わす。

UIC 会長フランソワ・ダヴァンヌ氏は、世界各国の主要なモビリティ・チェーン関係者全てに対し、北京で開かれるこの一大イベントへの参加を呼び掛ける。「この会議は、各国の関係者が一堂に会して素晴らしいアイデアを出し合い、いかに鉄道が社会に貢献できるかを共に考えるのに最高の場です。実際のところ、高速鉄道は、他の輸送手段との高い相互接続性と、インターフェース運営の最適化を実現して初めて力を発揮できるのです。あらゆる輸送手段の基幹が鉄道であるならば、高速鉄道はさらにその中核を成す輸送網であるということができるといえるでしょう。モビリティへの要求がますます高まっている中で、今回の北京での会議において、高速鉄道はきっとその解決策を提供できるはずだと確信しています。」

UIC HIGH SPEED 2020 北京会議には、各国から政策担当者、官公庁、鉄道事業者、サプライヤー、バイヤー、研究機関、大学などから、3,000 名以上の参加が見込まれている。

会議構成は、大きく「セッション」、「展示会」、「テクニカルビジット」の 3 部構成で行われる。「人工知能」「モビリティとインターモーダル輸送における高速鉄道の将来的発展」の 2 つのテーマについてそれぞれ議論をする「ラウンドテーブル」では、ベスト・プラクティスの共有

と情報交換の機会を参加者に提供する。さらに、30 のテーマに分かれる「パラレル・セッション」では、様々な技術トレンドについて議論が交わされる。学界主催の特別本会議では、「高速鉄道開発のための大学間提携ネットワーク」による研究結果報告が行われる予定。

また、今回の会議では数々の新しい取り組みが従来のセッションに加わることになり、特に本会議の間には、ハッカソンやワークショップ・デモが開かれる。

展示会では、中国および世界の最新の高速鉄道システム技術が紹介される。

高速鉄道はいまも世界中で拡大し続けており、例えば中国は 2008 年から総距離 **29,000 km** に及ぶ高速鉄道網を国内に導入し、いまや年に 20 億人もの旅客を輸送する。これは世界の高速鉄道の年間旅客数の 4 分の 3 以上を占める数字だ。

現在、世界中で総距離 **47,000 km** にわたる高速鉄道網が運用されているが、今後 30 年で少なくともその 2 倍に拡張すると予測され、それには産業面、技術面、そして財政面で多くの課題を解決する必要がある。

会議の公式ウェブサイトがまもなく開設予定：[www.uichighspeed2020.com](http://www.uichighspeed2020.com)

お問い合わせ先

さらに詳しく知りたい場合のお問い合わせ先：[com@uic.org](mailto:com@uic.org)

会議の内容についてのお問い合わせ先：【担当 マーク・ギゴン】 [guigon@uic.org](mailto:guigon@uic.org)